

**超望遠ズームレンズ “RF100-400mm F5.6-8 IS USM” を発売  
高画質と小型・軽量を両立した超望遠ズーム撮影を実現**

キヤノンは「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、超望遠撮影を手軽に楽しみたいと考える幅広いユーザー向けに、普及価格帯の超望遠ズームレンズ “RF100-400mm F5.6-8 IS USM” を 2021 年 10 月下旬に発売します。



RF100-400mm F5.6-8 IS USM

“RF100-400mm F5.6-8 IS USM”は、優れた描写性能と機動性を両立しています。また、別売りのエクステンダーを装着することで、焦点距離 800mm<sup>※1</sup> まで望遠域を拡大し、被写体を大きく引き寄せた迫力ある撮影をすることができます。

**■ 焦点距離 100mm から 400mm のズーム全域で高画質と小型・軽量を両立**

「UD レンズ<sup>※2</sup>」1 枚、「非球面レンズ」1 枚を含む 9 群 12 枚の光学設計により、色収差をズーム全域で抑制し、色にじみの少ない鮮明な描写を可能としながら、全長約 164.7mm、質量約 635g の小型・軽量を実現しています。また、普及価格帯の望遠ズームレンズとして親しまれてきた「EF70-300mm F4-5.6 IS II USM」(2016 年 12 月発売) より望遠域を 100mm 拡張した 400mm とすることで、物理的に近づけない舞台上の人物やスポーツの撮影、近寄ることが難しい動物などを大きく写すといった多様な撮影ニーズに応えます。

**■ 超音波モーター「ナノ USM」による高速かつ滑らかな AF**

キヤノン独自開発の超音波モーター「ナノ USM」により、静止画撮影における高速・高精度 AF と動画撮影時における滑らかな AF を実現しています。また、「EOS R5」(2020 年 7 月発売) 装着時は、ズーム全域で最大約 100% (横) × 約 100% (縦)<sup>※3</sup> の測距エリアで AF 撮影ができます。

**■ 快適な撮影をもたらす多彩な機能**

手持ち撮影をアシストする手ブレ補正により、「EOS R5」装着時は、ボディー内の手ブレ補正機構と協調制御することで、静止画撮影時に 6.0 段<sup>※4</sup>の手ブレ補正を実現します。ボディー内手ブレ補正機構を搭載していない「EOS R」(2018 年 10 月発売) 装着時は、5.5 段<sup>※4</sup>の手ブレ補正効果を実現しています。また、最大撮影倍率 0.41 倍 (焦点距離 400mm)、最短撮影距離 0.88m (焦点距離 200mm) で撮影ができ、花などの被写体により接近した撮影を楽しむことができます。

製品名	希望小売価格	発売日
RF100-400mm F5.6-8 IS USM	オープン価格	2021 年 10 月下旬

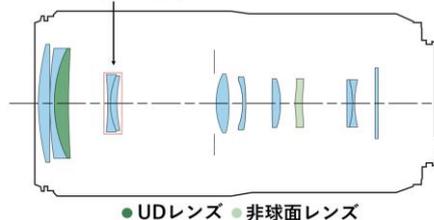
※1 「エクステンダー RF2×」装着時 (2020 年 7 月発売)。「エクステンダー RF1.4×」(2020 年 7 月発売) 装着時は焦点距離 560mm まで拡大。  
 ※2 「UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) ガラス」を用いたレンズ。  
 ※3 「顔+追尾優先 AF」設定時で被写体枠が表示された場合。シーンや被写体の状況によって対応できない場合があります。  
 ※4 CIPA 規格に準拠。焦点距離 400mm。Yaw/Pitch 方向。

## <主な特長>

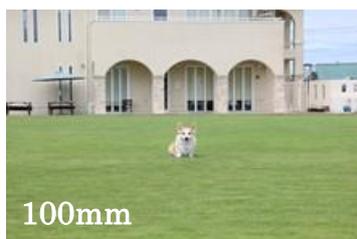
### 1. 焦点距離 100mm から 400mm のズーム全域で高画質と小型・軽量を両立

- RF マウントの大口径・ショートバックフォーカスがもたらす自由度の高いレンズ設計により、高画質と小型・軽量を両立。
- 「UD レンズ」1 枚、「非球面レンズ」1 枚を含む 9 群 12 枚の光学設計により、望遠レンズに発生しやすい色収差をズーム全域で抑制し、色にじみの少ない鮮明な描写が可能。
- 全長約 164.7mm、質量約 635g。携行時や撮影時の負担を軽減。
- 普及価格帯の望遠ズームとして親しまれてきた「EF70-300mm F4-5.6 IS II USM」より望遠域を 100mm 拡張した 400mm とすることで、物理的に近づけない舞台上の人物やスポーツの撮影、近寄ることが難しい動物などを大きく写すといった多様な撮影ニーズに対応。

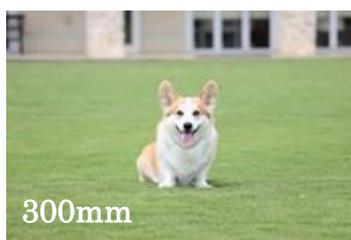
手ブレ補正光学系



“RF100-400mm F5.6-8 IS USM” の光学構成図



100mm



300mm



400mm

遠くの被写体を大きく写すことができる焦点距離 400mm での撮影

### 2. 超音波モーター「ナノ USM」による高速かつ滑らかな AF

- キヤノン独自開発の超音波モーター「ナノ USM」による静止画撮影における高速・高精度 AF を実現。動画撮影時も滑らかな AF により、快適な撮影が可能。
- 「EOS R5」装着時は、ズーム全域で最大約 100%（横）×約 100%（縦）の測距エリアで AF 撮影が可能。
- 「EOS R5」や「EOS R6（2020 年 8 月発売）」に「エクステンダー RF1.4×」、「エクステンダー RF2×」を装着した時の AF 測距エリアは、それぞれ約 80%（横）×約 80%（縦）、約 40%（横）×約 60%（縦）に対応。

エクステンダーなし

エクステンダー RF1.4x

エクステンダー RF2x



AF 測距エリアの比較  
(EOS R6 装着時)

### 3. 快適な撮影をもたらす多彩な機能

- 手持ち撮影をアシストする手ブレ補正機構により、「EOS R5」装着時は、ボディ内の手ブレ補正機構と協調制御することで、静止画撮影時に 6.0 段の手ブレ補正を実現。
- ボディ内手ブレ補正機構を搭載していない「EOS R」装着時は、5.5 段の手ブレ補正を実現。
- 最大撮影倍率 0.41 倍（焦点距離 400mm）、最短撮影距離 0.88m（焦点距離 200mm）での撮影ができ、花などの被写体により接近した撮影が可能。

## <主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。